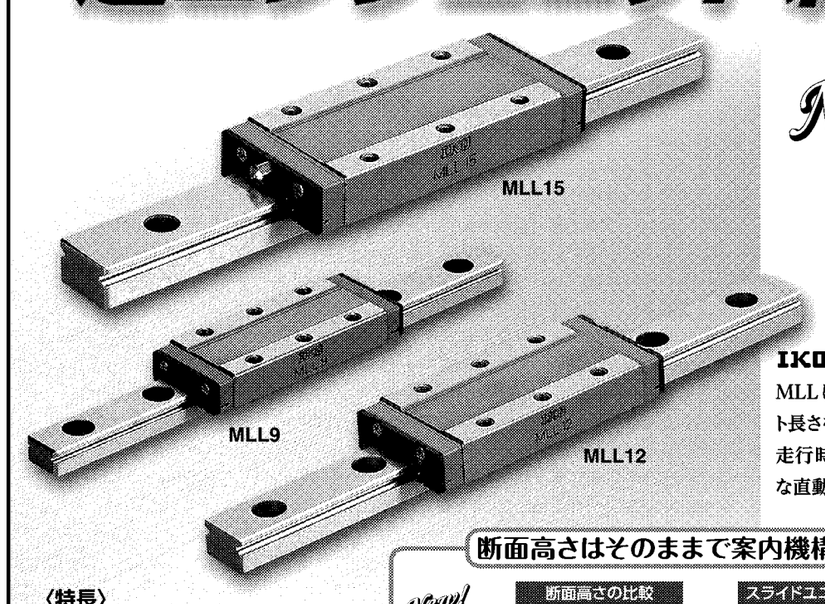
ミニアチュアサイズの直動案内機器に、高剛性・高精度な

超ロングユニット新登場!!

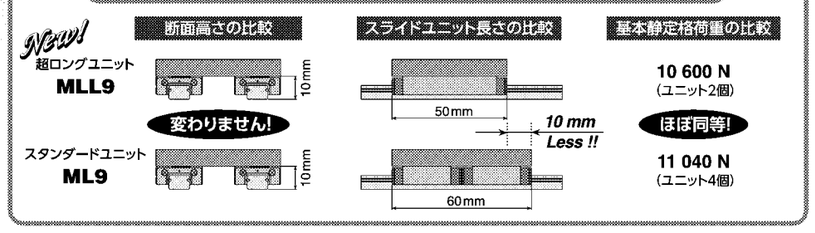


New!
Cルーブリニアウェイ L
〈超ロングユニット〉
MLL

IKO Cルーブリニアウェイ L〈超ロングユニット〉MLLは、従来最長ユニット MLG のスライドユニット長さを約 1.3 倍長くすることで、負荷容量 1.3 倍、走行時の振れも大幅に減少した、高剛性・高精度な直動案内機器です。

〈特長〉
- 負荷容量・剛性が向上
- 案内機構のコンパクト化に貢献
- 高精度な送り機構を実現
- Cルーブ内蔵で長期メンテナンスフリー

断面高さはそのままで案内機構のコンパクト化が可能！



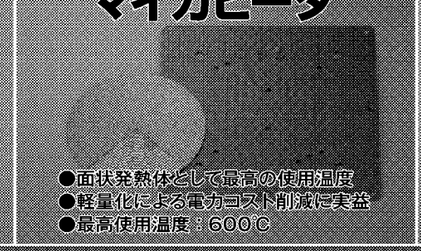
ご来場お待ちしております
MEDTEC Japan 出展小間 933
6/29(水)-30(木) パシフィコ横浜

IKO Innovation, Know-how & Originality
日本トムソン
http://www.ikont.co.jp/

あくまでも「熱と制御」にこだわる企業です

シリコンラバーヒータ

- 面状発熱体として最も多彩な使用実績
- 曲面への貼り付けも自由自在
- 最高使用温度：200℃

マイカヒータ

- 面状発熱体として最高の使用温度
- 軽量化による電力コスト削減に実益
- 最高使用温度：600℃

ポリイミドヒータ

- 厚さ0.2mmの極薄ヒータ
- 抜群の応答性、高速昇温に実力発揮
- 最高使用温度：250℃

MEDTEC Japan 2011年6月29日(水)-30日(木) パシフィコ横浜 展示ホール1004

お問合せ・お申込み
Watty ワッティー 株式会社
熱システム事業部 http://www.watty.co.jp
本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-18-2 TEL.03-3779-1001 FAX.03-3495-2525
相模原事業所 〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台4-1-71 TEL.042-704-5360 FAX.042-704-5354

人体から宇宙まで
「先端」を造り続ける

ハイス・超硬
SUS 製工具

特殊精密切削工具・医療用工具
株式会社 東鋼
住所：東京都文京区本郷 5-27-10
TEL：03-3815-5811　FAX：03-3815-5911
医療機器製造業許可 07BZ200032
URL　http://www.toko-tool.co.jp

切削加工の極限を追究する。

チタン切削加工での削りだし

先端医療機器開発
チタンほか難削材の切削加工ならお任せください。
MEDTEC Japan Booth No.510
スズキプレシオン 〒322-0251 栃木県鹿沼市野尻113番地2
TEL0289-65-6001 FAX0289-62-8084
http://www.precion.co.jp

MEDTEC Japan　DesignMED Japan　きょう開幕

新規参入企業が増加

幅広い製品を展示

29、30の両日、横浜・みなとみらいのパシフィコ横浜で「MEDTEC Japan2011」と「DesignMED Canon2011」が開催される。主催はUBM。両展示会には医療機器の設計・製造に関する技術・製品が一堂に会す。また、国際会議を開催し、来場者に医療機器産業の最新情報を提供する。開場は29日が10―17時、30日が10―16時。入場料はホームページからの事前登録者、招待券持参者は無料、会場登録者は2000円。

医療機器産業に新規参入する企業が増えている。医療機器産業は経済不況時でも需要への影響が少なく、常に発展が求められ、成長市場と期待されているからだ。しかし、こうした流れは最近のこと。これまで医療機器メーカーは医療機器の審査・承認にかかる時間のロスを避けるため、原材料・部品・電子機器・機械などのサプライヤーを固定していた。新たなサプライヤーが入り込む隙がなく、新規に参入する企業は少なかった。

そうした中で、輸入品に頼ることが多くなり、医療機器メーカーは日本の技術の疲弊化という危機感から国内のサプライヤーとの取引を増やした。従来から扱っていた製品を医療機器用に改良することもあるが、改良せずに活用できる製品がほとんど。自動車、エレクトロニクス、家電業界など、さまざまな業界から新規参入する企業が増えている。

そこで、政府は新成長戦略の一つに「ライフ・イノベーションによる健康大国戦略」を掲げ、新規参入企業を後押しする。法規制の整備、承認審査の迅速・効率化など、新しい技術を低コストで提供できるよう製品を開発しやすい環境を整え、国内の医療技術の発展を推進。国際競争力を強化し、日本企業の世界市場の獲得をサポートする。

MEDTEC Japanは今回で3回目の開催だ。出展対象は成形機、プラスチック加工機、樹脂などの原材料、押出技術および特殊チューブ類、特殊合金、包装技術など、多岐にわたる。回数を重ねるごとに出展社数は増加し、今回、初めて工作機械メーカーが出展。インプラントや人工骨などで必要不可欠な金型加工を紹介する。

同時開催のDesignMED Japanではペースメーカーや体重計などに使われる電子部品や電源、モニター、電池など、医療用エレクトロニクス製品が多数展示される。

両展示会の来場者は約7割が医療機器メーカー。これまで、サプライヤーと医療機器メーカーをつなぐ場が少なかったため、実際に製品を手に取り、サプライヤーと直接交渉できる貴重な機会だ。

技術・製品の展示だけでなく、MEDTEC Japan2011国際会議を開催。日本医療機器産業連合会で医療機器産業の課題解決に取り組むテルモ研究開発本部の片山國正担当部長が座長となり、プログラムを用意。規制・法律の変化や、海外の医療機器市場への進出に向けた課題・解決策など、医療機器メーカーが必要とする情報を紹介する。

29日の10時10分からは産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門の鎮西清行グループリーダーが「医療機器ガイドライン 日本発の革新的医療機器のために」、30日の11時15分からはサクラ精機グループ統括本部の飯田隆太郎担当部長が「薬事法に基づく承認申請等の手続きについて―医療機器を製造販売するために必要な手続きとは？」を講演する。1日のみの聴講料金は2万円、2日間は3万円。出展者・学生・政府機関は1日のみの聴講料金は1万5000円、2日間は2万5000円。当日席に空きがあれば聴講が可能。

また、MEDTEC Japan医療機器最新技術フォーラムは29日の16時10分からスズキプレシオンが「医療機器、部材供給に携わる微細切削加工」、DesignMED／Rapidworld最新技術フォーラムでは同日14時から村田製作所が「『エレクトロニクスからメディカルへ』innovator in Electronics」、同日14時45分からワッティーが「ヒータと制御、液面レベルセンサ、近接スイッチのワッティー」を講演する。フォーラムは聴講無料。

村田製作所

村田製作所は情報通信機器市場や自動車市場で長年培ってきた品質管理技術を背景に、医療機器に貢献する電子部品を展示する。

注目アイテムとして、世界トップシェアを誇るセラミックコンデンサーをはじめとした一般電子部品、音声ガイダンスや警告用途において採用が進む発音部品を紹介する。

また、デモを通じて、高精度の微量送液を可能とするマイクロポンプや超小型・薄型化を実現した送風用マイクロブロワー、液体を霧状に加工する霧化モジュール、ハイスループットを実現する微量物質検出のためのセンサーデバイスなども紹介する。

ワッティー

ワッティーは「挑戦するヒータメーカー」をテーマに、従来の面状発熱体に比べ消費電力を約30％低減したポリイミドヒーターをはじめ、シリコンラバーヒーター、マイカヒーター、カートリッジヒーターなどの開発、設計、製造、販売を行っている。

同社は半導体製造装置のヒーターで培った温度制御とクリーン度を要求されるモノづくりが得意だ。特に、面状発熱体を得意とし、温度分布を計算したヒーターエレメントの製作が可能。顧客の仕様に合わせたカスタムメードには定評がある。

また、窒化アルミニウム（AlN）を素材にした急昇・急降温対応のヒーターを開発。生化学分析装置や血液分析装置のヒーター製作の実績もある。

医療機器が求める信頼性に
品質で応えるムラタの電子部品。

健康で安心して暮らせる長寿社会に向け、医療機器はより高度に、より人に優しくなっています。機器のデジタル化・ネットワーク化は医療現場の負荷を軽減し、在宅医療やセルフケアの実現可能性を高めてきました。その変化の鍵となっているのが、エレクトロニクス技術です。ムラタは、医療機器の回路を支える様々な電子部品の提供を通じ、これらの発展に貢献。情報通信機器市場で培った確かな品質で、医療機器の求める信頼性に応えます。

MEDTEC Japan
会期：2011年6月29日（水）・30日（木）
会場：パシフィコ横浜　ブースNo.1000

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

■本社／〒617―8555
京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
■営業本部／〒150―0002
東京都渋谷区渋谷3丁目29番12号
■製品に関するお問い合わせは
health_care@murata.co.jp
※「MMC」「セラロック」「マジックストラップ」は（株）村田製作所の登録商標です。
※Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。